

海科学館の入場料が無料になる企画を市内の小中学校、西尾市の校長会にPRし、形原、塩津の2小学校の230人、西尾市の8小学校の611人、さらに西浦、鹿島の2保育園や子ども会が遠足等で利用した。この企画での名鉄利用者合計は1482人、前年度比32・7%増、365人の増となった。また、あけぼの幼稚園では愛知こどもの国への遠足で名鉄を利用したと聞いている。

●民生費

ファミリー・サポート・センター事業

問 問題点と今後の課題は。
答 平成25年7月から事業を開始したが、特に大きな問題点はない。年度末での会員数は、子育てを助けてほしい側のおねがい会員が115人、子育てを手伝う側のまかせて会員が39人、両方ともものどっちも会員が15人で合計169人であり、まかせて会員の拡大が今後の課題となっている。西浦、形原、塩津、大塚などでおねがい会員が増えているの

■ 9月定例会の日程

3日	本会議 〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕 決算審査特別委員会
4日	本会議〔一般質問〕
5日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
9日	経済委員会
10日	文教委員会
11日	議会運営委員会理事会 議会運営委員会
12日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
18日	決算審査特別委員会
24日	本会議 〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕

に対しても、まかせて会員の数がなかなか増えていかないう状況であり、地域でおねがい会員とまかせて会員とがバランスよく増えていくことが望ましいので、周知について検討していきたい。

●衛生費

筋トレ・脳トレ実践教室開催事業

問 筋トレ・脳トレ実践教室は、平成25年度は10回開催され、市民病院の医師が講師となり実施をしている。開催事業費が16万8855円と非常に安いのはどうしてか。
答 筋トレ・脳トレ実践教室は平成24年度まで、市民病院で毎月実施していたものを平成25年4月より「いきいき市民健康づくり事業」として市の健康づくり事業に位置づけ継続実施している。事業費の内訳は、啓発のためのポスターや参加者への資料にかかる費用が主で、印刷製本費が9万9300円、消耗品費が4万1933円、会場設営のためのシルバー人材センターへの委託料が3万5952円。市民病院と協働実施で行うことにより人件費がかからないため、事業費を安くお

さえられている。

●農林水産業費

水産振興事業

問 抱卵ガザミ放流事業の成果として今年もガザミが豊漁だが、漁民の森林づくり事業とともに市民の認知が低いように思われるがいかがか。
答 蒲郡市のガザミ（ワタリガニ）の漁獲量は平成18年58トンから平成24年146トンと増えている。両事業とも多数の市民の協力を得て行っている事業だが、なかなか啓発ができていない。抱卵ガザミ放流事業については、平成25年5月に蒲郡記者クラブへニュースリリースを行っている。今後、少ない経費で上手く啓発できるよう、どこが注目を浴びるかなど研究しパブリシティを強化するとともに、市広報、ホームページ等も活用したい。

●商工費

緊急雇用創出事業

問 不況により解雇や継続雇用の中止を余儀なくされた人の生活の安定、技能の

取得のための雇用就業機会の創出とあるが。

答 募集に際しては、ハローワーク等で募集し、履歴書等で失業を確認している。技能の取得のための雇用ということに関しては、学校図書館の運営支援事業費の中で、1人司書の資格を取得し豊橋市の図書館へ就職をした。被災者限定臨時職員の雇用について、この方は東日本大震災の被災者で東北からの避難者。安全安心課でタクシードライバーの管理、都市計画課で公園の草刈り、清掃などの業務を行い平成25年5月1日から平成26年3月31日まで雇用した。

●土木費

輸出入荷物助成事業負担金

問 平成25年度の三河港蒲郡地区の輸出入荷物助成事業負担金の実績はどうか。
答 また、今後の輸出木材への助成適用の拡大についての考えはどのようか。

答 実績としては、輸出入自動車に助成金を400万円、輸入木材に1000万円の前算を設けていたが、自